予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算 支出科目款:総務費項:企画開発費 目:県民生活行政費

事 業 名 【新】地域の課題解決支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民生活課 交通安全・コミュニティ係 電話番号:058-272-1111(内2391)

E-mail: c11261@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

1,249 千円 (前年度予算額:

0 千円)

<財源内訳>

				財源		内	内 訳			
区分	事業費	国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財収	産入	寄附金	その他	県 債	一般財源
前年度	0	0	0	0		0	0	0	0	
要求額	1, 249	0	0	0		0	0	243	0	1,00
決定額	1, 249	0	0	0		0	0	243	0	1,00

2要求内容

(1)要求の趣旨(現状と課題)

県民が安全・安心に暮らすために、地域コミュニティの再生・活性化を図る必要がある。そのため、地域活動の担い手養成や担い手と地域課題を結びつける仕組みを作るなど、地域の絆づくりを総合的に推進することが重要となる。

(2) 事業内容

- ①地域の課題解決支援事業費
 - ・コミュニティ診断士活動支援・活用促進事業
- ②ぎふ地域の絆づくり支援センターの運営
 - ・支援センターだよりの発行
 - · 自治連絡協議会知事表彰

(3) 県負担・補助率の考え方

県内の地域力の向上につながる総合的な対策を検討するための事業であり、県が主体となる。

(4)類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

3 争未負の傾	异门引	
事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	270	講師等謝金
旅費	368	講師等費用弁償、職員旅費
需用費	367	消耗品、会議費、印刷製本費
役務費	144	連絡調整費
使用料及び賃借料	100	会場借上料
合計	1, 249	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1)各種計画での位置づけ

- 【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (2) 安らかに暮らせる地域
 - 5 犯罪・交通事故防止の推進
 - (3) 誰もが暮らしやすい地域
 - 1 地域を支援する人材の育成・確保

(2)後年度の財政負担

5年を目途に事業の継続等について必要な検討を実施

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

■ 新規要求事業

□継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- 何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- 何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- (1) コミュニティ診断士活用促進事業

コミュニティ診断士及び市町村・団体等との協働による検討会等への支援により、地域課題の解決・コミュニティ診断士の活用促進を図る。

(2) ぎふ地域の絆づくり支援センターの運営

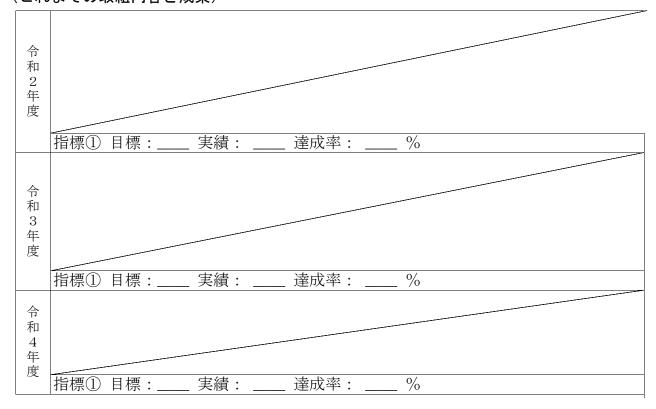
地域づくりの先進事例に関する情報発信を行い、地域課題解決のための活動を創出・ 実践できる人材養成を支援する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①コミュニティ診 断士活動回数						
	_	201	_	242	292	0%

〇指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)



2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の!	必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) ている 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない
(評価)	
3:期待以.	有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 上の成果あり
2:期待ど	おりの成果あり おりの成果が得られていない
	ど成果が得られていない
(評価)	
	効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) ている 1:横ばい 0:下がっている
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

地域活動の担い手不足や高齢化が進んでおり、若者や現役世代等新たな担い手の確保や、住民のつながりの希薄化に対する対応が求められている。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

地域コミュニティが抱える課題は多く、ニーズや効果を検証しながら必要な施策について検討を重ねる必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント	
又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由	
や期待する効果 など	